

少子高齢化・定住化対策意見交換会（小河内地区自治会）

- 日 時 平成30年6月29日（金）19:00～20:38
- 場 所 小河内振興財団 会議室
- 住民出席者 31名
- 町出席者 4名

●意見交換内容

（意見）Aさん

説明のあった少子高齢化を理解はしている。今日も小河内4自治会で集まっています。この地域でも、少子高齢化の問題が出て、昨年来より、地域アンケート調査を実施したり、5月には4自治会あり方検討委員会を開催し、教育長や小河内振興財団の理事長にも出席していただきました。第1回委員会の内容としては地域の現状、問題点（高齢のため夜間の会合の出席が困難）等の話が出ました。役員と住民がコミュニケーションを図っていく必要があります。先程、説明のあった原の人口ピラミッドはひどく、高齢化率は40.3%です。しかし駐在さんをはじめ、若い世代は原の住宅に6人入っています。（若い世代がいなければ高齢化率をもっと高くなる）地域ごとに諸問題はありますが、今後この状況を踏まえ議論していただければと思います。

（回答）町

町でも小河内4自治会の状況等については承知しておりますので、一緒に検討させていただければと思います。

（質問）Bさん

私は、こちらに3年前に来て町の住民となった。少子高齢化で大変だと思うが、もし私が若者だったら果たして奥多摩に住んだらどうか？と考えています。なかなか難しいと思う。定住するにはまず収入面（就労）の問題があり、その後若者住宅を考えるのではないかな？教育面では義務教育後、高校、大学に進むが少子化のため大学を選ばないのであれば入学できるが、良い大学に行くには、幼少期から塾に通う、家庭教師をつける等、若者には悲観的な意見で申し訳ないが厳しい環境である。そういった意味でも町に汗をかいてほしい。若者を集めるのが非常に困難かと思うが、私は川野に住んで非常に満足した生活を送っています。定年後ゆっくり自然に囲まれたところで暮らしたい方は沢山いるかと思っています。年寄りのユートピア的なものをつくっていただきたい。逆に提案したいと思いますが、いかがでしょうか。

（回答）町

- 1 就労関係について今相談を相談受けている中で、以前の傾向はバリバリ働き高収入

を得たい方が多い傾向ではあった。今の若い方は金銭面ではなく人間らしい生活をという風潮になってきていると感じます。人手不足により雇用関係が改善し、都市部では労働条件が良い方に流れているので、町に従事していただけない状況であり、就職氷河期時にはない話でした。こういった状況により、町の企業は苦慮しております。また、町に老人ホームなど福祉業種はありますが少子高齢化につき職はあるが町内企業には来ない状況です。町内の例で言うと氷川のヤマザキデイリーストアについては、経済面ではなく、後継者問題で廃業した。デイリーの本部は残したかった意向であり、移住定住相談会でもPRしていた。就職のマッチングが難しく、今後の課題であると受け止めている。

2 町の教育環境については、昔は西に来るほど学力が低下すると言われていたが、今は少人数学級、IT教育等非常に手厚くしている、定住相談の中で少人数学級に憧れる親御さんも増えている（見学依頼もあり）。環境的には恵まれている、一般的な学力は平均より上と認識している。

3 定年を機に町に来たい方の声をたくさん聴きます。町に空き家バンク制度があり、TV取材時には高齢化対策のためにと説明をしておりますが、TV局では若者住宅を取り上げたい意向のためか、編集上カットされてしまっています。空き家バンクの活用であれば、年齢制限はないので、ぜひ空き家の活用をお願いしたい。空家は活用できるうちに活用しないとごみとなってしまう、解体費も増大することとなります。

（質問） Cさん

小河内地区に限らず町全体としてお聞きしたい。私は氷川保育園で働いています。子育て支援、定住対策が手厚くありがたく思っています。その中で待機児童無しと、うたっているが、0歳児はいきなり入れるのか！？タイミングで入れないこともあるのではないのか？待機児童0はPRしない方が良いのではないのか？それに伴い、保育士の確保が難しいと思うが、実際入ってきて駄目だとマイナスイメージにならないか？古里に入れたいが入れない場合等、潜在的な待機児童はどれくらいか伺いたい。また、自然が好きな人は構わないが、保護者同志の関係でトラブルはあると思う。移住した方とトラブルになると、昔から永住していた人が、嫌で出てしまうことも考えられるので対策をお願いしたい。青梅市でいじめの自殺事例があったが何年後、奥多摩であるかもしれない。町としてはイメージダウンになりかねない。子育て支援も充実しており、私も最近結婚しました。これから子供を持ちたいので助かります。大人にとっての制度は充実しているが、子供目線ではどうか！？遊ぶ場所等の問題、登計原に保育園でよく行くが、老朽化が激しく木がボロボロであり、危険である。子供にとっては厳しすぎる自然環境だと思う、河原で遊ぶにも町でちょっと整備した河原遊びが出来る場所等あったら、とても保育園としてもありがたいし、私が親になった時に凄いうれしい事だと思います。

（回答） 町

1 保育園について、現在待機児童0であり、保育料無料をPRしている。町全体とし

て捉え待機児童0と認識している。氷川保育園の園児が過去に37名まで減少した時に、園長先生と協議をおこなった経緯があります。保育士の削減や今後運営が厳しい等の話をしました。町として氷川保育園が無くなると小河内地区の園児は古里へとなってしまいますので何とか存続させないといけないという結論に至りました。定住される方については、事前に福祉保健課の保育担当に相談しており、定住対策用の住宅については何歳児が何人等の情報を把握でき、連携を図っております。一方でお嫁に来られる方や事前に相談の無い方は把握できません。町営住宅であれば100%把握できますが、ただ待機児童が奥多摩にはいっぱいいるよということになってしまうと、人も来なくなってしまう可能性もあるので、連携しながらやっていきたいと思います。

(質問) Cさん

移住者を優先するのか？

(回答) 町

保育園入園の場合、緊急度で判断しており、ポイント制で例えば両親共働きのポイントは高く、求職中等は低くなり、このように緊急度で判断しています。

2 移住者のトラブルについて情報は入ってきています。町には町営住宅と公営住宅があります。公営住宅は所得制限があり、低所得者が入居します。一方町営住宅は、高齢者用、母子用、若者用の住宅があります。こちらは入居条件（収入基準（質問）年齢基準等）に合致すれば行政はお断りできません。若者住宅の場合は、募集定員を超えれば選考しますが、随時募集の時は、基準を満たせば入居できます。なぜあの人を入れたのだ等の声を聴くことがあります。入居条件が問題ないのに断れば差別問題（人権問題）となってしまいます。例えば発達障害や、精神障害の病気を理由に断ることはできません。一方で対処法として子ども家庭支援センター（以下 子家セン）は、今年4月から職員を増員し対応している。そのような支援体制を充実することで対応していますので、小さいことでも相談ください。いじめの問題について、町では少子化で子供の数が少ない。教員が児童（質問）生徒を見る割合は都内では40人／教員、町で10人前後／教員であり目は行き届いていると思います。不安な意見や心配事等が意見として出たことを、所管の担当課に伝え、改善していきます。

3 遊び場問題について、子家セン建設時に各地区の保護者との協議、さらにはアンケートで少子化対策については何が一番必要ですかと設問をしました。その当時の結果として、子育て環境の中で経済負担の軽減の声が一番多くあり、子育ての経済負担を軽減する方向で進めてきました。その中で公園（スポーツ広場）の部分については、昔は21自治会に整備して、ブランコや遊具が設置されていました。少子化に伴い、未就学児の団体（氷川、古里地区）でも遊ばなくなってしまう、また保育園に入園するとスポーツ広場（地域）で遊ぶこともなくなりました。同時に遊具の老朽化に伴う再点検の通達が文部科学省よりあり、自治会に確認したところ、もう使用しないという意見が多く、撤去した経緯があります。こういった状況の中、公園の新設は難しいですが、スポーツ広場の一部に遊具の設置

や遊べる環境を作ることはできるかと思います。他の自治会（丹三郎）でも同様の意見が出ましたが、未就学児は1世帯であり設置するのも難しい状況です。一番重要なのは遊び場所ではなく、遊べる子供たちがいることが必要と考えています。今ある広場や町有地での検討となるので持ち帰り担当課へ報告します。

（質問） Cさん

登記原は町内では数少ない広大な土地ですが、子供は隅っこでしか遊ばません。開放はしていただけないですか？

（回答） 町

昔は開放し、自由に入ることが出来ましたが、トラブルがあり、今は施錠しています。ルール作りをして開放することとなりますので、持ち帰り検討します。

（質問） Dさん

小河内の学校を昭和42年に卒業し同級生は42、3人いました。現在町に残っているのは1人だけです。なんでみんな出ていくのか、戻ってこないかの原因があると思います。町は原因や要素をどう考えていますか？

（回答） 町

高校生へのアンケートでは公共交通が不便、買い物環境が不便等の意見が多くあります。しかし、児童・生徒（子供）のうちは不便と思わない。親が不便と感じていることが要因です。高校・大学進学時に物理的に小河内地区からは通えません。大学・高校の就学時の問題として、町に学校がないことはあります。また、住みづらい、住みやすいと言いますが、住みずらければ奥多摩町に限らず出て行ってしまいますし、住みやすければ残ります。では住みやすいとは何か？人間関係なのか、就労関係なのか等理由は様々です。就労で言えば小河内地区で言えば昔は奥多摩湖の建設や1次産業（林業）が主産業で栄えていましたが、今は林業としては成り立ちません。そのような、社会情勢が変化したことも要因の1つだと考えています。

（質問） Dさん

不便さがある限り移住でもまた出て行ってしまいうでは無いか…

（回答） 町

移住定住相談の中でも自然環境は良いが交通や買い物は不便であることを伝えています。大都市との比較ではなく、地方と比較をした場合、地方では電車が45分間隔／本でも恵まれているといわれることもあります。（岩手県・長崎県の議員視察時）奥多摩に住みたい方々は100人中数パーセントかもしれませんが、こういった方々は奥多摩町を不便と感じませんので、就労紹介等して、来ていただく努力はしておりますし、今後も推進していきます。

(質問) Dさん

私がおもうには、やっぱり職場問題（就労問題）だと思う。出て行った理由は仕事である。企業が無い。企業誘致をしてもらいたい。

(回答) 町

おっしゃる通りです。企業が増え選択肢が増えることが望ましいですが、一方で国立公園内であり大規模な事業開発（企業誘致は不可）は難しいです。現在は小規模事業者、通信環境が普及し在宅就労者（PC 関連業務）もいるのでそういった方々に来ていただきたいし、優遇措置もあります。また遊休施設や寄付物件の活用を図っており、旧古里中学校の活用（日本語学校）や、グランピング等、大規模ではなく身の丈に合った（就労支援）施策をおこなっています。

(意見) Dさん

住宅、住宅と言うけれど、結局廃校前にやればよかったのではないですか？この地区に学校が無い今言われても非常に厳しいです。住民は限界です。

(質問) Eさん

学校が無くなり 14 年経つが、当時バス運行の時間帯については小河内の PTA 等と話しあいをしてしたが、最初の 1 年目だけであり、2 年目から話し合いが無くなった。知らない間に 8 時台、9 時台のバスも無くなり、今非常に困っています。青梅で懇親会等会合があり飲酒する機会があるが帰路、奥多摩駅にタクシーは無い。青梅から乗車してくれば交通費は倍額かかります。大型バスではなく、マイクロバスで良いので 9 時台に運航していただきたい。懇親会安心して出席できる。奥多摩駅から歩ける距離（境・桧村）であれば良いが、私は家まで実際歩いた（酒が入っている状態）際、3 時間以上要しました。交通機関の手当てをしてくれれば、素晴らしく良くなるが、今は細々と原で生活しています。4 年前の大雪時、水源林の山より雪崩が発生し、屋根が滅茶苦茶となり、家の中まで雪だらけとなりました。自治会の皆さんの協力により玄関から自宅に入れたのは 7 日目のことでした。当然水道局に話をしたが、自然災害であり想定外であると言われ、話にならなかった。雪止めも小規模なものを入れて終わりでした。そういったところ（対応）は非常に住みにくいと思いましたし、町を出て行っていいかなとも思いました。

(回答) 町

1 バスについて以前の経緯を確認します。要望があれば出していただきたい。バスの変更については担当課（企画財政課）に持ち帰り話は伝えます。夜、足が無い場合、福祉保健課の事業に地域支えあいボランティア事業があります。外出支援サービスとは異なり、高齢者でなくても、健康な方でも会員登録をすれば 30 分 500 円で買い物支援や送迎、在宅の見守り等の利用が可能です。

(質問) Eさん

その制度は知っているが事前に言うのも手間がかかり大変である。

(回答) 町

タクシーに依頼はしても来ませんか!?

(質問) Eさん

5時過ぎたらダメみたいです。

(回答) 町

以前のタクシー会社の説明では、電話すれば夜でも来るということでしたが、現状来ないのであれば、企画財政課からタクシー会社に確認します。この意見を持ち帰り担当課(企画財政課)に伝えます。

(回答) 町

2 急傾斜地について原地区は急傾斜地に指定されており、都(建設局)で対策事業をおこなっています。以前の大雪時は今までに経験ないほどの災害であり、他の地域でも同様の事案は発生しておりました。今後、危険な箇所については必要な構造物設置等、都に働きかけていきたいと思えます。

(質問) Fさん

資料にある住宅22年間譲与制度について条件等お聞かせ願いたい。

(回答) 町

22年の住宅については今年度から始めた事業で、22年間定住すれば土地と建物を譲与するというものです。

(質問) Fさん

賃貸ですか?

(回答) 町

月額5万円を頂いています。条件があり43歳以下で子供がいる家庭です。また夫婦でなくても可です。今までの15年間住めば無償で譲与する制度は空き家物件でしたので固定資産税額相当額を頂いておりました。22年のほうは新築になりますので、5万円いただく予定です。

(質問) Fさん

住宅費を払うにも収入が必要となりますが、職業斡旋は町でしていますか?

(回答) 町

町内の就業先には打診しています。移住相談の方には情報提供をしています。ハローワークについては定期的に就業情報をいただいています。町の企業はあまり求人を出してい

ませんのでマッチングが難しく、今後の課題となっています。

(お願い) 町

空き家バンクについてのお願いです。空き家について町に頻繁に問合せあり、平均すると3~4件/日は来ています。冒頭で定住サポーターを紹介しましたが、今年も空き家の現況調査をさせていただきます。現在は賃貸物件が不足しています。とにかく奥多摩に来て、試しに賃貸物件で生活体験をし、生活ができると確信が持てたら物件を購入し永住をと考える方が多いので、近所に空き家があれば空き家バンクに登録し、是非活用していただきたい(家賃収入も発生します)と思います。

(情報提供) Aさん原自治会熱海地区

空き家について、今年になって通りの生活館手前にあった幽霊屋敷を壊していただき更地になりましたが、他には温泉神社上部等にある。また別荘が多い(7件)新築もあり。5件は所有者が来て手入れをしており住める状態ではあるが自治会では中々交渉が出来ないのが現状です。

(回答) 町

空き家存在情報だけでも結構ですのでお寄せください。

(質問) Aさん

別荘の方はいるかいなかかわからなく安否確認が問題であり、自治会員にはなっていないので、防犯の問題もあります。

(回答) 町

現状の問題は理解しました。

(質問) Aさん

地域でどうにもならないのは、昭和32年にダムが完成しましたが、その当時からあるものなのか、モミの木がすごく大きくなってしまい、危険である。水道局や西建、町なのかわかりませんが、道路上や脇等にあり、Gさん宅の上にあります心配しています。

(質問) Gさん

電線も通っており倒木の際は、電気が全部だめになる状況になります。

(回答) 町

数年前に切った経緯はございますので、危険なものがあれば情報提供をお願いいたします。

(質問) Gさん

自治会役員をみんなやっています。町から要請の役職は、小さい自治会は不要なものもあります。人手が無いので削減を検討していただけないでしょうか？

(回答) 町

公の選任（選挙委員、民生委員等）となりますので、各地区で必要、不必要を判断し総務課へ要望してください。このような問題は、総合的に判断することとなります。総務課には申し伝えます。

以上